

# 広報 そじゃ



わたしたちが考え、わたしたちが行動するまち

## 被災地支援 能登半島地震

### CONTENTS

- 小学校5校 創立150周年 ..... 2
- 新型コロナウイルス関連情報 ..... 3
- クローズアップ市政 ..... 4
- お知らせ ..... 8
- ごみの出し方 ..... 20
- フォトニュース ..... 22

2024  
令和6年  
No. 227

# 3



令和6年3月号  
令和6年3月1日発行

No. 227

発行/総社市役所 編集/市政情報課広報広聴係  
電話 0866-92-8214 メール shisei@city.soja.okayama.jp  
〒719-1192 岡山県総社市中央一丁目1番1号

配布/総務課行政係  
電話 0866-92-8218 FAX 0866-93-9479  
総社市役所のかんばん https://www.city.soja.okayama.jp/



## 新庁舎建設 工事進捗状況

工事期間中、大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解・ご協力をお願いします。進捗状況は市ホームページにも随時掲載しています。

問い合わせ 財産管理課新庁舎建設係 ☎ 0866-92-8229)



市 HP



【1月31日】

庁舎棟1階（西半分）の床のコンクリート打設をしています。



【2月6日】

2基目のタワークレーン（写真左）の設置が完了しました。



【2月9日】

構台（重機の通り道）を撤去しています。東半分の撤去が完了しました。



## 連載 そうじゃ防災士の会からのメッセージ

### 第10回 緊急連絡体制を作りましょう

災害発生の危険が高まり、市から避難情報が発令されたら、避難所へ避難するなど命を守る行動が必要です。避難情報はテレビやラジオ、市の公式LINE、緊急速報メールで伝えられますが、全ての人が情報に気付くとは限りません。

このようなことから、緊急な情報を共有できるように、緊急連絡体制を構築することが重要になります。町内会で連絡網を作っておくと、災害が起きた際に地域で避難を呼び掛け合うことができ、安否確認にも役立ちます。身近で作成できるものとしては、携帯電話やLINEを利用した緊急連絡網が挙げられます。連絡網には個人情報が含まれるため、作成・利用の際には、

地域の人の理解と同意が必要です。また、個人情報の取り扱いに十分注意しましょう。

そのほか、体制を作るだけでなく、避難訓練を実施しておくといいでしょう。訓練では、連絡網を通じて避難完了の報告を行うことで、作成した連絡体制が機能するかを確認することができます。実際に緊急連絡体制を作り、日頃から避難訓練に取り組んでいた地域では、5年前の豪雨災害の際、住民の安否確認ができ、犠牲者が出なかったという事例があります。

皆さんの町内会でも、ぜひ緊急連絡体制を取り入れてみてはいかがでしょうか。

問い合わせ 危機管理室 ☎ 0866-92-8599)

### 編集後記

■市民会館のピアノ。一度弾いてみたいので、久しぶりに練習してみようかな。(H・E)  
■文化財防火デー消火訓練。本番さながらの迫力に圧倒されました。(S・N)  
■大谷翔平選手から市内の各学校に贈られたグローブ。受け取った子どもたちの笑顔が印象的でした。(Y・K)  
■ローリングストックスを実践。賞味期限が短いものが多いので、在庫が不足きみ。もう少し見直してみようと思う。(O・H)

### 今月の表紙



1月26日、能登半島地震の被災地に向けて、支援物資の寝袋を発送しました。三便目となる今回は、889個を発送。関係者らが見守る中、寝袋に込められた思いも載せて、市役所を出発しました。

## 暖かさと復旧・復興への思いを送る 全国から届いた寝袋を能登へ

